

《令和7年度 荻田地域座談会》

令和7年12月6日土曜日午後6時30分から荻田北福祉会館にて、「地域の見守り活動」をテーマに地域座談会が行われました。参加者は、地域からは見守り活動を進めておられる地域支援員と相談員、そして地域活動協議会の役員等を中心に、住吉区の見守り支援システムを推進している区役所、区社協、また地域包括支援センターの職員なども加えて、併せて27名が参加しました。

常駐支援相談員さんの開会挨拶の後、区役所から見守り支援システムの説明を、続いて区社協見守り相談室から見守り支援事業と具体的な見守り活動の方法などについてお話ししました。



質疑応答では、「現在担当町会には登録者が119名いるが支援員は4名しかいない」「何度訪問しても不在の家がある」「オートロックマンションへはどうすればいいのか?」「なんとかお会いできても『何をしにきた』と言われると困る」「町会未加入者が多いが、把握できていない」「日常の見守りは不要で災害時だけでも良いのでは」など、活動を通じての困りごとや疑問点が多く挙げられました。



一方で、「団地の中の間人間関係はうまくいっている」「お互いが声を掛けあうなどのつながりが必要」「精神疾患などの障がいがあるの方について、見守り相談室と連携できている」などの前向きな声も共有されました。



また、「これからどんどん大変な時代になっていくので、地域の中に居場所をつくるのが大切であり、居場所が増えれば支援員の負担も減り、要援護者本人家族の安心安全につながる」といった重要な提案もあり、「今後もこうした機会を継続的に持ち、お互いに状況を共有しながらがんばっていきましょう」と確認して、座談会は終わりました。

《令和7年度 山之内地域座談会》

令和8年2月6日金曜日午後7時から和会館にて、「山之内地域における地域福祉活動の今とこれからについて」をテーマに第5回山之内地域座談会が開催されました。地域団体をはじめ、地域・福祉施設事業所交流会に関わる福祉・介護事業所の方々、金融機関からの参加、区役所、区社協の職員を含め、25名が参加し、初参加の方も3人おられました。

山之内スマイル協議会では、令和4年度から座談会が継続的に実施されており、さまざまな新たな取組みも生まれています。特に今年度は、中高生の参加を得て実施できた地域の防災訓練や、地域内の福祉・介護事業所と地域団体とが共同企画した、日頃外出が難しい方や施設の利用者も一緒に参加できる地域交流イベント「山之内しあわせスマイルデイ2025」について、開催に至るプロセスや当日の様子等について、共有と振り返りが行われました。

その後のグループディスカッションでは、これまでの活動を振り返りつつ、身近な地域で起きている「気になること」を出し合い、今後「地域や私たちができること」について、積極的な意見交換が行われました。

これまで培ってきた地域交流を継続するために、地域活動への新たな参加者を増やすための工夫として誰もが参加できる地域活動を通じた「参加のきっかけづくり」（共通認識を持ちやすい防災等を掘り下げて）、地域住民と福祉事業所などとの「日常的な交流を深めること」が重要であることが共有されました。そのほか、個人情報への取扱いについて、外出支援・移動支援について、閉じこもりがちな一人暮らし高齢者等への積極的な参加支援についてなど、地域住民をはじめ、施設や企業が協力できることなどが具体的に話し合われました。

最後に皆で話し合う「場」を大切にしながら協働していくことを互いに確認して終わりました。

